

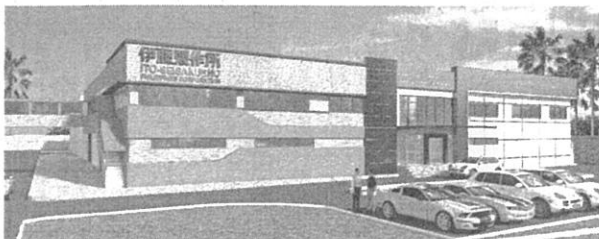
順送り金型専用工場

フィリピンに建設

伊藤製作所

日系現調ニーズ対応

来年10月稼働目指す



【津】伊藤製作所（三重県四日市市、伊藤澄夫社長、059・364・7111）は、2016年初めにもフィリピン工場（カランバ市）内に順送り金型専用工場を建設する。同年10月の稼働を目指す。フィリピンなど東南アジアに生産拠点を持つ日系企業の現地調達ニーズに対応する。投資額は4億5000万円。稼働後のフィリピン工場の金型部門売上高は、これまでの3倍の約5億円になる見込み。

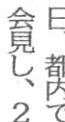
建設する順送り金型専用工場イメージ

建設する順送り金型専用工場は、延べ床面積1800平方メートル。長さ24メートル以下の順送り金型を生産する。工場完成後の受注に応じ、プレス機、マシニングセンター、CAD/CAEなど本社工場（三重県四日市市）と同等の最新鋭の設備を導入していく計画。同社は96年にフィリピンに進出し、合弁会社を設立した。03年に完全子会社化し、自動車や電機などの日系企業から受注した部品用金型を生産している。また、フィリピンでは、金型の設計も行ってきている。現地のフィリピン人従業員は徹底した日本式教育により「今では日本の従業員と同レベルまで技術力が高まった」（伊藤社長）という。13年に同社がインドネシアで設立した合弁会社では、

英プライメタルズ 来年度から運用

三菱重工工業グループ・ラント事業の統合会社である英プライメタルズ（PMT）は、2016年度から運用する方針を明らかにしている。当初は全社員約7900人の2%弱に相当する150人程度をグローバルマネジメ

三菱重工工業グループ・ラント事業の統合会社である英プライメタルズ（PMT）は、2016年度から運用する方針を明らかにしている。当初は全社員約7900人の2%弱に相当する150人程度をグローバルマネジメ

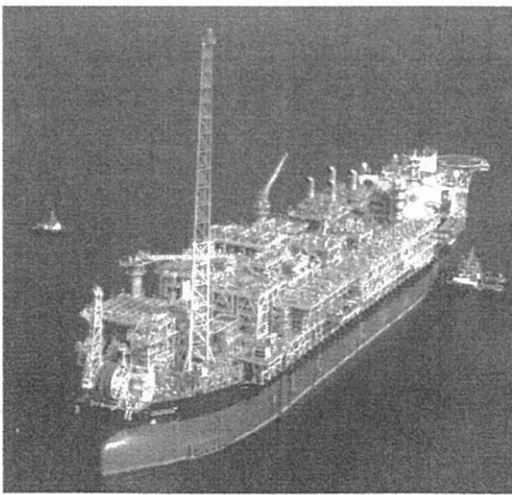


三菱重工工業グループ・ラント事業の統合会社である英プライメタルズ（PMT）は、2016年度から運用する方針を明らかにしている。当初は全社員約7900人の2%弱に相当する150人程度をグローバルマネジメ

さあ！出番
IT'S YOUR TURN



底したコストダウンとはグルメ旅と読書。近品質管理で、車両メーカーはハワイ旅行にはまかしの要請に心える。ついでにとか。座右の悩みの種は昨今の人手不足や技能伝承。銘は「継続は力なり」。



三井海洋開発（MO）の建造・据え付け工事（DEC）は1日、プラを完了、7月31日にチヤーターサービスを始めたと発表した。受注額はFPSOの建造・据え付けで、10億1500万円に位置するイラセマ・ノルテ鉱区の開発に用いる。当初は12月末を予定していたが、約5カ月早い完工となった。同鉱区は海底下約5000メートルのプレソルト（岩塩層直下の層）にある海底油田の一部。MV26は日量15万バレルの原油生産、同2億8000立方メートルのガス生産能力を持つ。

建設・据え付け完工
三井海洋開発

ペトロブラス向けFPSO
イリピン人従業員が現削減のために金型の現地調達を拡大させている。順送り金型の現地生産は、日系企業にと